



資格加点Q & A

Q1：スポーツ区分で申請できる競技はどんなものですか。

A：競技は、日本スポーツ協会又は日本オリンピック委員会のいずれにも加盟（正加盟、準加盟、承認）している競技団体の競技とします。
令和6年2月現在では以下の57競技です。

陸上	水泳	サッカー	スキー	テニス	ボート
ホッケー	ボクシング	バレーボール	体操	バスケットボール	スケート
アイスホッケー	レスリング	セーリング	ウエイトリフティング	ハンドボール	自転車競技
ソフトテニス	卓球	軟式野球	相撲	馬術	フェンシング
柔道	ソフトボール	バドミントン	弓道	ライフル射撃	剣道
近代五種	ラグビー	山岳・スポーツクライミング	カヌー	アーチェリー	空手道
銃剣道	クレ射撃	なぎなた	ボウリング	ボブスレー・リュージュ・スケルトン	硬式野球
武術太極拳	カーリング	トライアスロン	ゴルフ	ボディビル・フィットネス	ダンススポーツ
バイアスロン	サーフィン	ローラースポーツ	アメリカンフットボール	チアリーディング	オリエンテーリング
パワーリフティング	ペタンク・プール	フライングディスク			

Q2：全国大会の「出場」の定義を教えてください。

A：茨城県警察では、チームスポーツにおいて全国大会の選手登録がされていた場合は「出場」と認めます。「補欠」で出場の機会がなかった場合でも、選手登録されていれば「出場」と認めます。

ただし、地区大会は出場して、優勝したものの、全国大会で選手登録がなかった場合は、「出場」には該当しません。

逆に地区大会は出場できなかったものの、全国大会には選手登録されて出場した場合は「出場」に該当します。

Q3：地区大会がなく、推薦で全国大会に出場した場合は加点対象になりますか。

A：加点対象にはなりません。必ず「地区大会を経たもの」とします。

地区大会は「都道府県」単位でも、関東や東日本など「地区」単位でも構いません。

Q4：クラブチームや実業団で、地区大会を経て全国大会に出場した場合もスポーツ区分の資格加点に申請できますか。

A：中学校卒業以降であれば、どのような団体に属していても、地区大会を経た全国大会の出場が証明できれば、申請できます。

Q 5：全国大会出場はいつからいつまでの期間で認められますか。

A：全国大会は、中学校卒業以降の大会とします。

受験したい採用試験の受付期間終了日までに出場した全国大会を対象とします。地区大会等を優勝して全国大会の出場権を得ていても、受付期間以降に全国大会が行われる場合は加点対象となりません。

なお、「スポーツ」区分申請予定の方は、受験申込みをする際に、「出身校等による全国大会等出場証明書」を手元に用意する必要がありますので、早めに出身校等に証明書の作成を依頼してください。

Q 6：「スポーツ」区分の証明書類について詳しく教えてください。

A：原則として、スポーツ区分の証明書類は「出身校等による全国大会等出場証明書」になります。

採用案内ホームページに掲載してある「出身校等による全国大会等出場証明書」をプリントアウトして、出身校の代表者等（※）に作成してもらい、受験申込みするときまでに手元に用意してください。

受験申込みの際は、証明書をスキャンまたはカメラで撮影したデータを添付して申請し、第1次試験当日に原本を提出してください。

廃校等により出身校等に証明書の作成が依頼できない場合は、平日午前8時30分から午後5時までの間に、採用フリーダイヤル（0120-314-058）までお問い合わせください。

※ 出身校の代表者等

出身校の代表者となる校長や学長、クラブチームや実業団であれば、その団体を代表する方となります。

Q 7：第1回採用試験で作成して提出した「出身校等による全国大会等出場証明書」を、第2回採用試験でも提出していいですか。

A：可能です。

他の資格の証明書と同様、一度正式に作成された証明書であれば、何度でも提出可能です。第1次試験当日に原本を提出しても、試験終了後に原本はお返ししますので、大切に保管しておいてください。

Q 8：「出身校等による全国大会等出場証明書」は代表者の押印は必要ですか。

A：必要です。「公印」か「名字の印鑑」の押印がないものは無効です。

代表者の学校名や代表者名はスタンプでも自筆で書いてあるものでも大丈夫です。

Q 9：複数の競技や種目で全国大会に出場した場合はどうすればいいですか。

A：陸上競技で走り幅跳びと三段跳びの2種目で全国大会に出場、夏は自転車競技、冬はスケート競技で全国大会に出場のように、複数の競技や種目で全国大会に出場したような場合、「スポーツ」区分の1区分でしか申請できません。

全国大会出場の中で地区大会を経た任意の競技や種目の「出場証明書」を提出してください（茨城県警察の場合は順位や成績の優劣は加点に関係ありません。）。

Q10：世界大会出場は加点対象になりますか。

A：世界大会自体は加点対象にはなりません。
ただし、地区予選を経て全国大会に出場した結果で得た世界大会出場であれば、全国大会出場の証明書を提出していただければ加点対象となります。

Q11：例えば、柔道初段で、柔道の全国大会出場者は、「武道」区分と「スポーツ」区分の2つの区分で申請できますか。

A：申請できます。資格加点は異なる2区分まで加点されます。ただし、同一の区分の中で2つの資格を持っている場合（例：英語と中国語、柔道と剣道）は1つしか申請できません。

Q12：柔道の昇段審査が終わって、県の柔道連盟からは初段合格と言われ、柔道手帳にも初段合格の記載があるのですが、資格加点に申請できますか。

A：申請できません。
柔道の証明書類は講道館発行の段証書ですから、受験申込みの際に、お手元に段証書がない場合は申請できません。
他の武道も同様で、資格加点一覧表に定める団体の発行する段位証書又は段位取得証明書類が手元にある状態でなければ資格加点は申請できません。

Q13：資格の内容によって点数が異なるようですが、具体的に何点加算されますか。また、複数の区分の資格を持っている場合、どのように申請すればいいですか。

A：具体的な点数は公表しておりません。
令和5年度から各資格（スポーツを除く）とも資格に応じて配点を变えており、上位の資格の方が配点が高くなっています。
複数の区分の資格をお持ちの場合には、全て申請してください。

Q14：試験区分が「職務経験」でも資格加点の申請はできますか。

A：申請できます。令和6年度から「一般」、「職務経験」区分とこちらも加点が可能となりました。

Q15：資格加点の証明書類はどのように提出すればいいですか。

A：資格加点の証明書類提出は次の順番で行ってください。
① 試験申込みフォームにおいて、証明書類をデータ化したものを添付してください。
② 第1次試験の当日、受付において証明書類の「原本」を提出してください。原本は確認後返却いたします。
なお、①及び②のいずれか一方でも提出が無い場合は、資格加点されませんので、ご注意ください。

資格加点制度に関するお問い合わせ先

- **茨城県警察採用フリーダイヤル（平日8:30～17:15）**
0 1 2 0 - 3 1 4 - 0 5 8

- **茨城県警察採用係LINE**
 - ・ **氏名や学校名等のプロフィール登録をしてください**
 - ・ **回答には数日かかる場合があります**

採用係LINEは
こちら↓

